



朝夕の冷え込みに、秋の深まりを感じるようになりました。過ごしやすい気候のこの季節は、子どもたちにとっても外遊びやさまざまな活動にぴったりの時期です。散歩や公園遊びなど、自然の中でのびのびと遊ぶことで、子どもたちの感性や興味もぐんと広がっていきます。季節の変化を楽しみながら、さまざまな経験を重ねていきたいですね。

一方で、寒暖差が大きく、体調を崩しやすい時期でもあります。衣服の調節がしやすいよう、重ね着などの工夫をお願いいたします。また、空気の乾燥とともに風邪や感染症が流行しやすくなりますので、引き続き手洗い習慣を大切に、健康管理に気を付けましょう。今月も元気に遊び、冬に負けない体づくりをしましょう。



～ 11月の主な予定 ～

5日(水)	放課後等デイサービス
12日(水)	ことばの相談 放課後等デイサービス
19日(水)	放課後等デイサービス
25日(火)	ペアレントトレーニング
26日(水)	放課後等デイサービス

< クリスマス会のお知らせ >

今年度も二日間に分けてのクリスマス会を開催します。
出し物やプレゼントタイムなどを行い、みんなでクリスマスを楽しみたいと思います。

※12月18日(木)・・・指導日が月・木グループ

19日(金)・・・指導日が火・金グループ

時間は、午後1時半～3時頃を予定しています。

詳細は後日お知らせします。



*11月の間、中京学院大学看護学部の学生さんが見学実習に入ります。指導の様子等を見学されます。

よろしくお願いします。

<東濃特別支援学校・保護者学校見学のお知らせ>

12月5日(金) 特別支援学校の見学を行います。年中さんの保護者対象です。
ご希望の方は、担当職員までお申し出ください。詳細は後日お知らせします。



学習会のお知らせ(就学について)

12月3日(水) 10時～11時半まで

就学までの流れや、学校での支援について、みんなで一緒に勉強しましょう。

※今回は、主に来年度就学を控えた、年中保護者を対象にしています。



<講 師> 教育委員会学校教育課・薄井先生 瑞浪小学校教頭・加藤先生

<内 容> 学校生活について、特別支援教育について、就学までの取り組みについて

*OBの保護者の方の体験談も聞けます。関心のある方は、是非参加してください。

ぽけっと・駐車場工事にご協力をお願いします



瑞浪市駅北開発に伴い、当センターの駐車場の工事が始まっています。現在利用できる駐車スペースが狭くなっており、ご迷惑をおかけしています。

今後、現在利用していただいているスペースにも工事が入り、駐車場は施設建物の東側に移転する予定です。工事車両の出入りも多くなり、工事の日程により駐車する場所をその都度ご案内させて頂くことになります。大変申し訳ありませんが、ご協力をお願いします。

また、引き続き、駐車場内では子どもさんと必ず手をつなぎ、危険のないようにご注意ください。車への子どもさんの乗降が大変という方は、職員がお手伝いさせていただきます。ご相談ください。



体験学習・電車の旅(恵那)に行ってきました

10月の後半、体験学習として電車体験を行いました。(対象:3歳以上児) 瑞浪駅から恵那駅まで電車に乗り、恵那でおやつを食べ、また戻る(コンビニでおやつを買って食べる)というコースです。時間にすると、1時間半くらいですが、子どもたちにとっては大冒険。楽しい体験ができました。



＊火曜日の元気な男の子グループ。出発前に、電車に乗る時のマナーについて確認すると、「電車の中は走らない!」「ジャンプしない!」「静かにする!」とみんな口々に教えてくれました。(YouTubeでマナー動画を見てきた子もいました。すごい!)

約束した通り、どの子も落ち着いて行動することができましたよ。良い行動をたくさんほめていきました。自分も、周りの人も気持ちよく過ごすにはどうすると良いか、実際の体験を通して学ぶことができたと思います。



＊恵那駅近くのコンビニまでいき、おやつを買って駅前で食べました。人気があるのは、「グミ」や「チョコレート」 欲しい物の値段が少し高くて、「今日は買えないね、これなら買えるよ」と先生に言われ、どの子もそれを受け入れて、買うものを考えることができましたよ。お店でもとても落ち着いて行動できました。

同じグループのJくんとSくん、お互いに買ったお菓子を「はいどうぞ」「ありがとうございます」「どうぞ」と交換することができました。微笑ましいやり取りでしたよ。友だちと一緒に嬉しい、楽しい経験ができました。(*へへ*)

駅や電車の中では静かに待つ(座る)、大人と手をつないで歩く、友だちと一緒に行動することに慣れる、見たことや感じたことを伝え合う、などなど、たくさんの経験ができました。子どもは実体験を通して様々なことを学習します。周りのペースに合わせることが苦手な子や、慣れないことにイメージを持ちにくく、不安を感じやすい子もいます。個々に合った援助を考えながら、今後もいろいろな活動に取り組んでいきたいと思っています。

